

マタイ 17

真偽を見分ける 主の道へ

マタイ福音書7章13～29節

山上の説教⑩

狭き門・岩の上の家

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

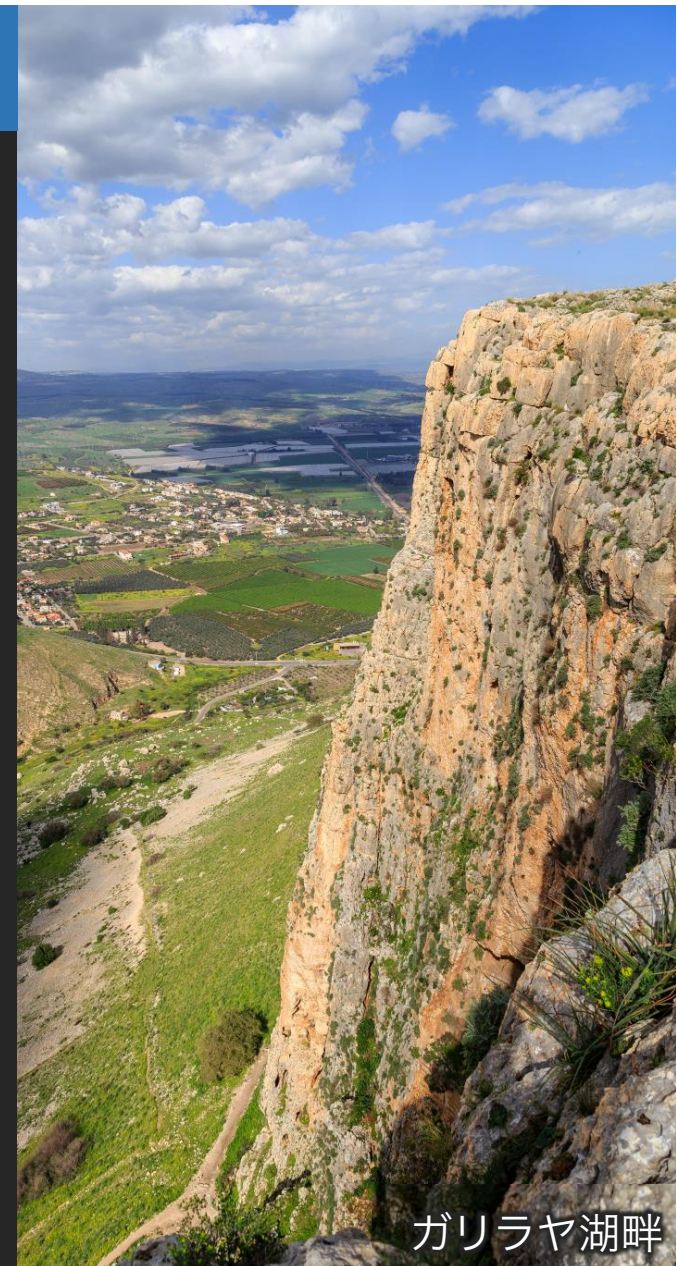
I. 導入：狭い門から入れ 7:13～14

II. 展開：偽善者の見分け方 7:15～20

III. 結論：権威者の裁き 7:21～29

IV. まとめと適用

真偽を見分ける、主の道へ





0. イントロダクション

ガリラヤ湖・山上の説教の丘

メシアによる宣教は開始された

■ マタイ福音書4:17

この時からイエスは宣教を開始し、

「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」

と言われた。

**イスラエルに生まれたメシアだけが、
神との平和を地上にもたらされる**

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ



最後の晩餐

エルサレム入城

最後の弟子訓練

山上の変容

ペトロの信仰告白

五千人の食事

たとえ話

ベルゼブル論争

安息日(律法解釈)論争

メシア的奇跡

宣教開始

弟子の召命

荒野の誘惑

バプテスマ



山上の説教とは？ マタイ5～7章

- ガリラヤ湖畔で語られた、イエスの**説教集**。
→ 丘の上、もしくは湖面(ルカ6章)から
- パリサイ派の「**口伝律法**」の間違いを指摘。
神の「**律法**」の真の意味と適用を教えられた。
→ 十字架以前のこの時点は、**律法の時代**
- 「山上の説教(垂訓)」とは、
→ メシアによる直々の**律法解釈!!**
→ **イスラエル**に向けて語られた



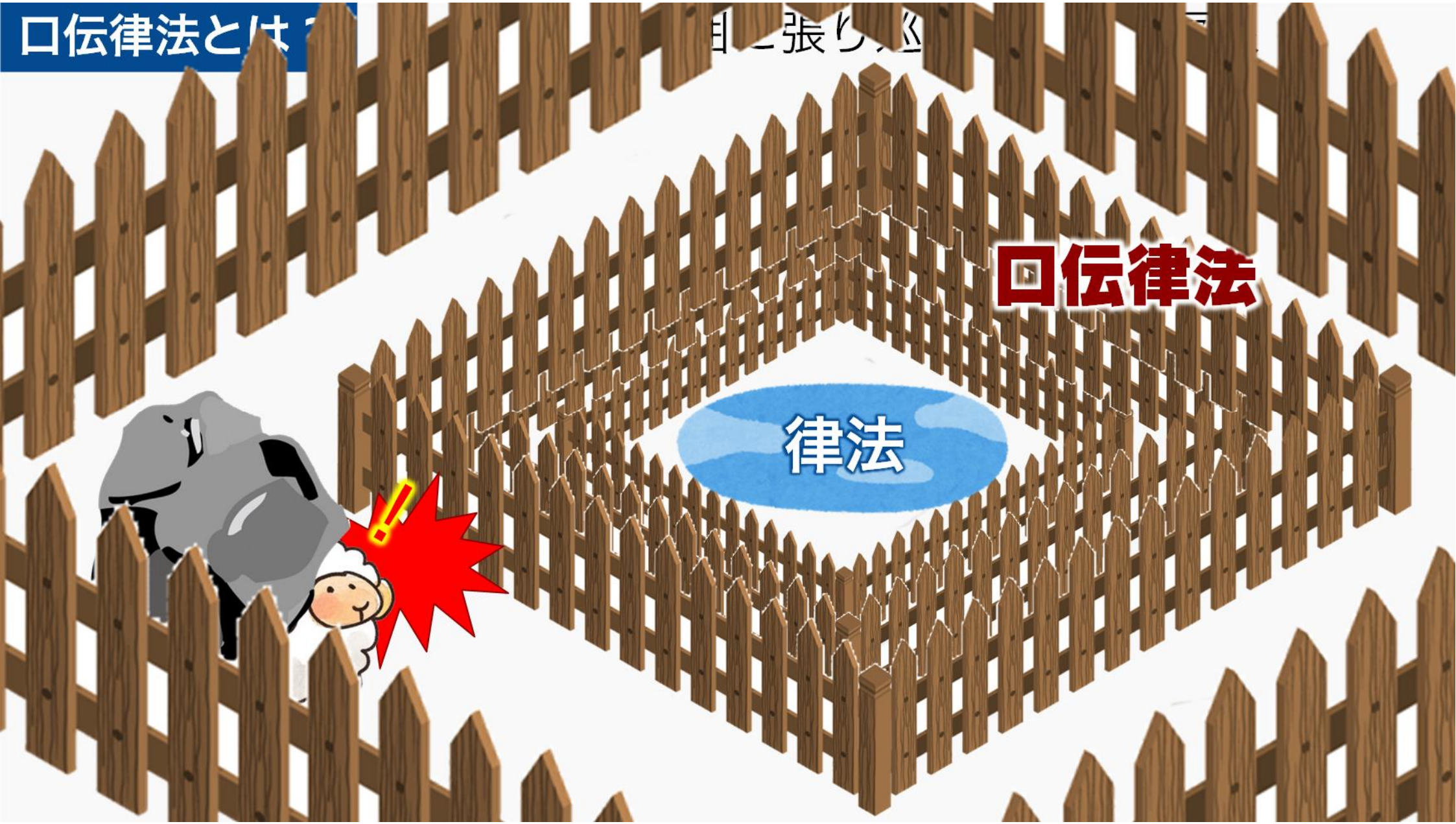
旧約聖書の
文脈が重要

口伝律法とは？

目張り巡

口伝律法

律法



偽善者たちの口伝律法

- 「偽善者」「偽預言者」「偽教師」と、イエスが厳しく非難
→ パリサイ派、律法学者たち
- 彼らが重視したのは、律法に付け加えられた**口伝律法**
→ 人間の勝手な言い伝えが、律法と同等以上に!!
- 主が定められた律法による裁きより、はるかに重い、**口伝律法**による裁きが、人々を苦しめていた。



Ⅰ. 導入 狭い門から入れ

マタイ福音書 8章13～14節

エルサレム・黄金門

導入 狭い門 マタイ7:13

狭い門*から入りなさい。滅びに至る門*は大きく、その道は広く、そこから入って行く者が多いのです。

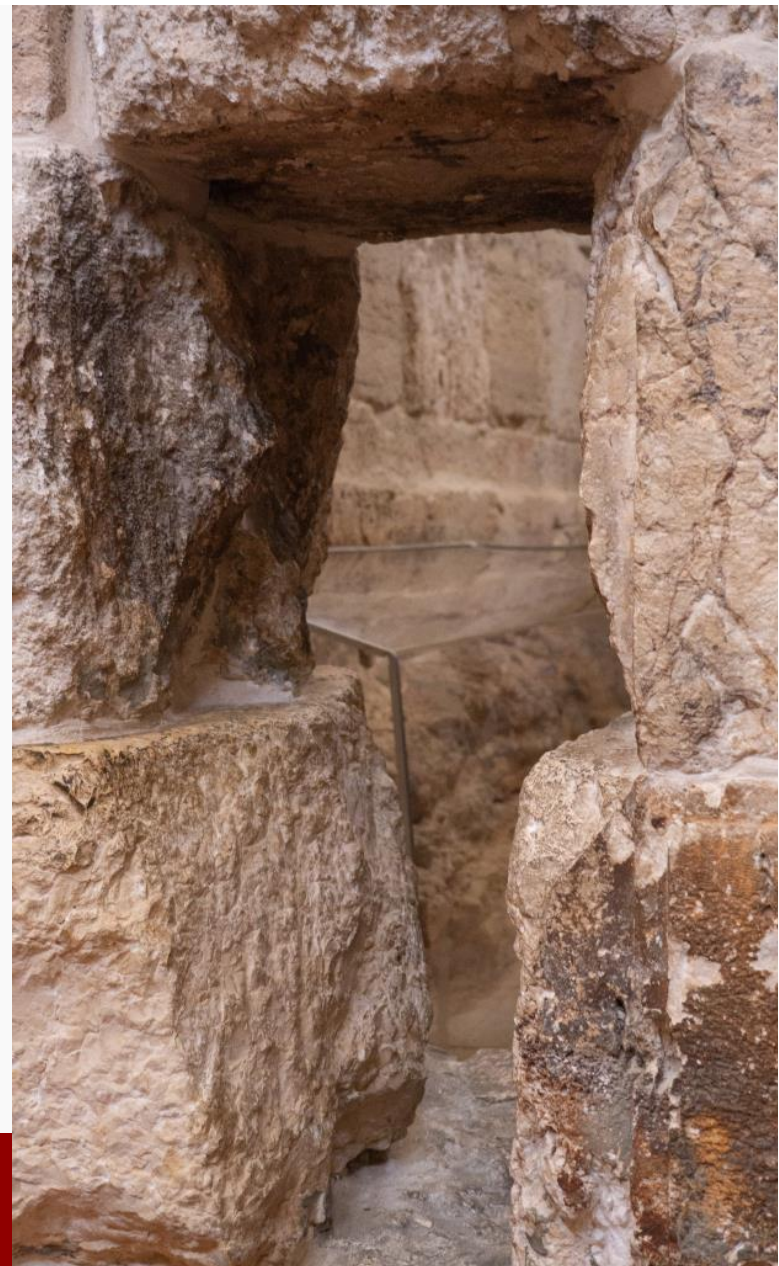
*町の門は、裁きの場でもある。

*アブラハムの子孫であるユダヤ人は皆、神の国に入ると教えられていた。

➡口伝律法の遵守で地位が決まる

■メシアの律法解釈の厳格さ ➡山上の説教

メシアの厳しい裁きを甘んじて受けよ!!



導入

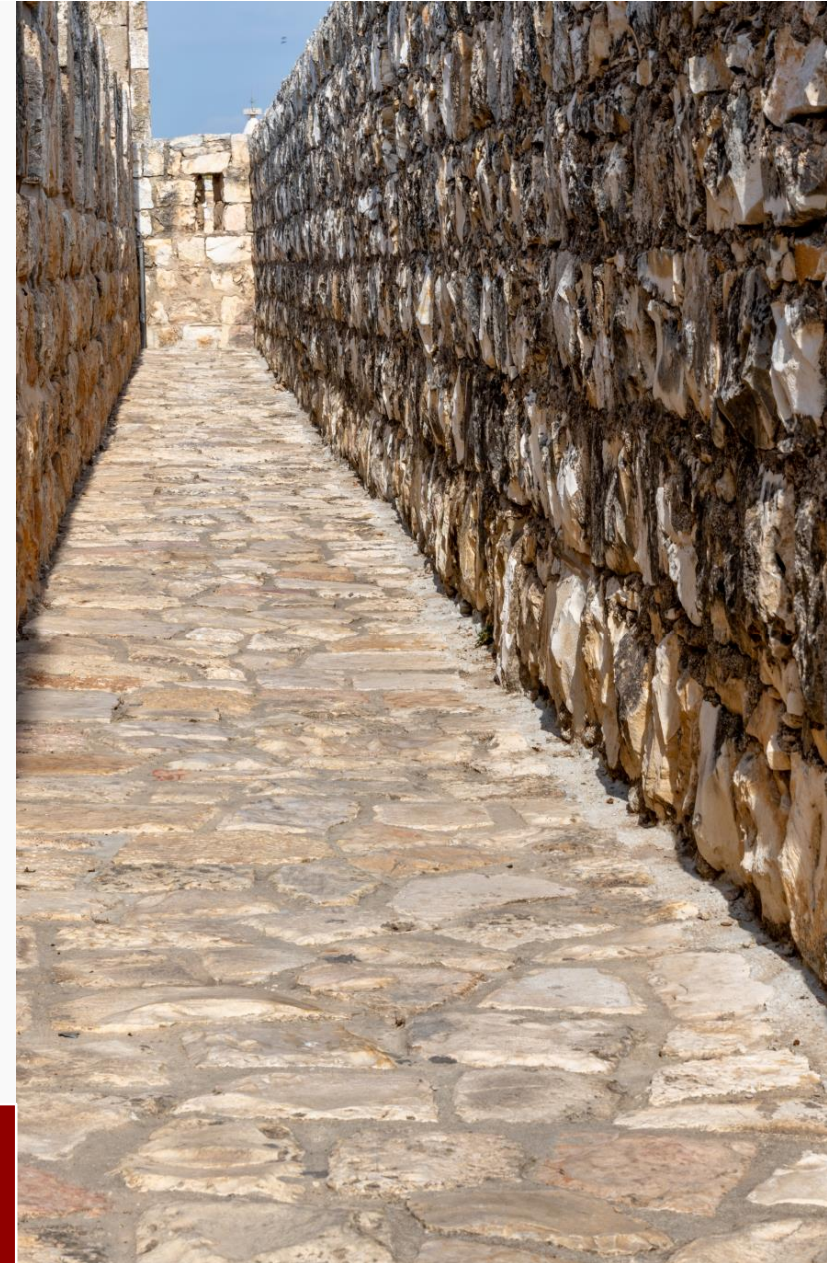
いのちに至る門 マタイ7:14

いのちに至る門*はなんと狭く、その道もなんと細いことでしょう。そして、それを見出す者はわずかです。

*永遠の命・神の国に至る門

■ イエスをメシアと信じるユダヤ人は希少。
イエスの公生涯の期間も。教会時代も。

メシアの厳しい教えに従いなさい





II. 展開 偽善者の見分け方

マタイ福音書8章15～20節

ユダの荒野・丘の上の町

展開

偽預言者 マタイ7:15

偽預言者たちに用心しなさい。彼らは羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、内側は貪欲な狼です。

■ エゼキエル22:25,27

「そのただ中には預言者たちの陰謀がある。彼らは、獲物をかみ裂きながら吼えたける雄獅子のように人々を食らい、富と宝を奪い取り、その町にやもめの数を増やした。…その町の高官たちは、獲物をかみ裂く狼のようだ。」



偽預言者が内側から
イスラエルを破壊

展開

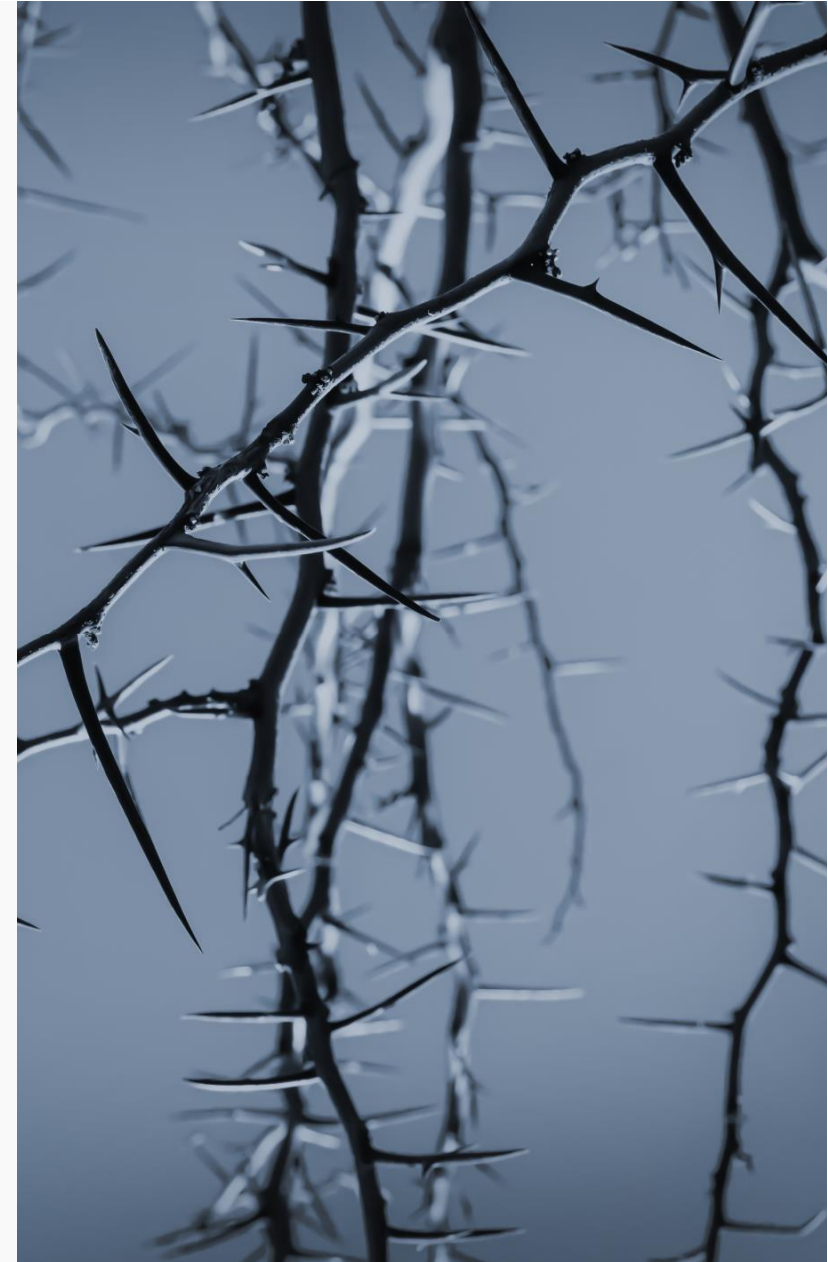
偽預言者の実 マタイ7:16

あなたがたは彼らを**実**によって見分けることになります。茨からぶどうが、あざみからいちじくが採れるでしょうか。

■ 偽預言者、偽善者は、外見では判別不能。言葉巧みな演技者。嘘に躊躇がない。

➡ 唯一の見分け方は、**実**を見ること
何をしたか。していないか。

➡ とりわけ社会的益のない人に対して
どうふるまっているか？



展開 良い木 マタイ7:17~18

良い木はみな良い実を結び、悪い木は悪い実を結びます。

良い木が悪い実を結ぶことはできず、また、悪い木が良い実を結ぶこともできません。

■ 農民にとって、良い木は明白。

良い実を結ぶのが、良い木。

← 当たり前!!

■ ましてや、主の目には、

良い木と悪い木は、明々白々。

(※小から大の議論)



展開 悪い木の末路 マタイ7:19～20

良い実を結ばない木はみな切り倒されて、火に投げ込まれます*。

こういうわけで、あなたがたは彼らを実によって見分けることになるのです。

*果樹園の手入れでされていたこと。

■最終的な見分けは、主の裁きで判明。

➔最終的裁き・燃える火の池(ゲヘナ)





Ⅲ. 結論 権威者の裁き

マタイ福音書7章21～29節

ガリラヤ北部の町

結論 父のみこころを行う者 マタイ7:21

わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者が
みな天の御国に入るのではなく、天におられる
わたしの父のみこころを行う者が入るのです。

*わたし = 主 = 裁き主 さりげに神性宣言!!


■ 偽善者は、言葉巧みな、名演技者。

むしろ、誰より熱心に見えたりもする。

■ 行いも、形だけで主に通用するわけがない。

主を知る → 主を全身全霊で知る

みこころを行う → 主のみこころに生きる



問われるのは
私たちの人生の
歩みそのもの

結論

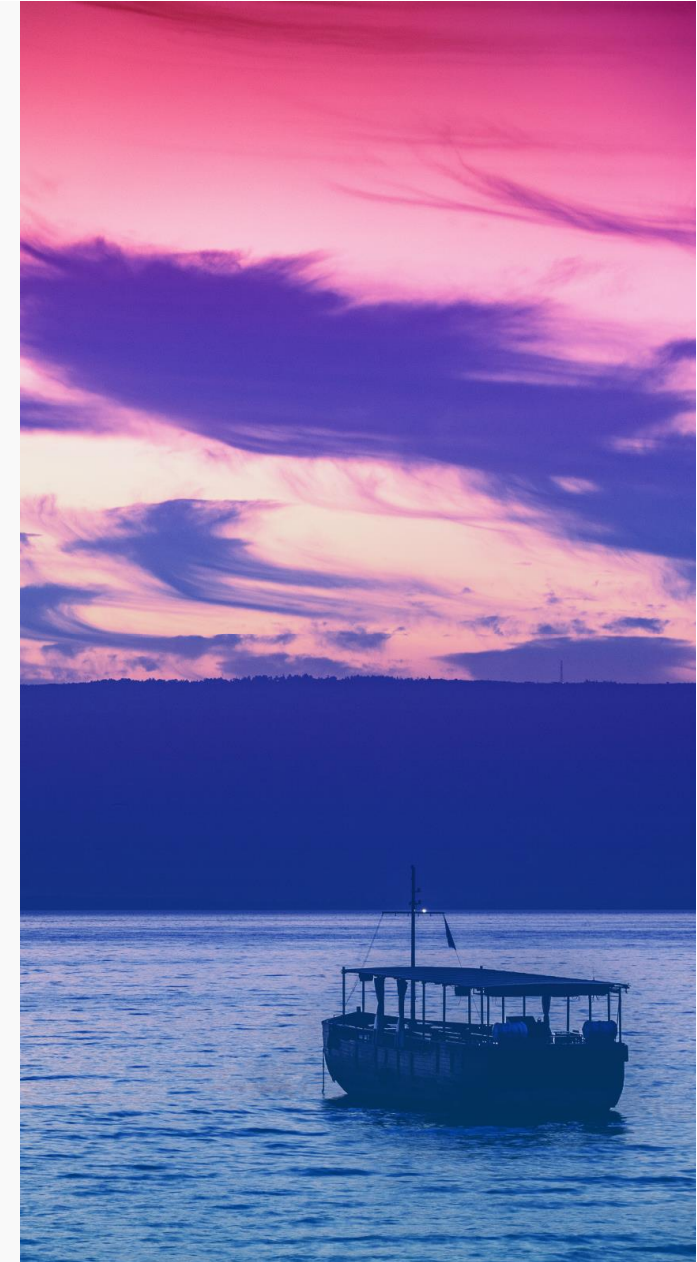
偽善者の弁明 マタイ7:22

その日には多くの者がわたし*に言うでしょう。
『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言し、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの奇跡を行ったではありませんか。』

*明確に、裁き主として語られる主イエス

■ 預言も、悪霊追い出しも、奇跡すらも、
救いの証拠にはならない。

➡ これらで信仰を強調する愚かさ!!



結論 裁きの宣告 マタイ7:23

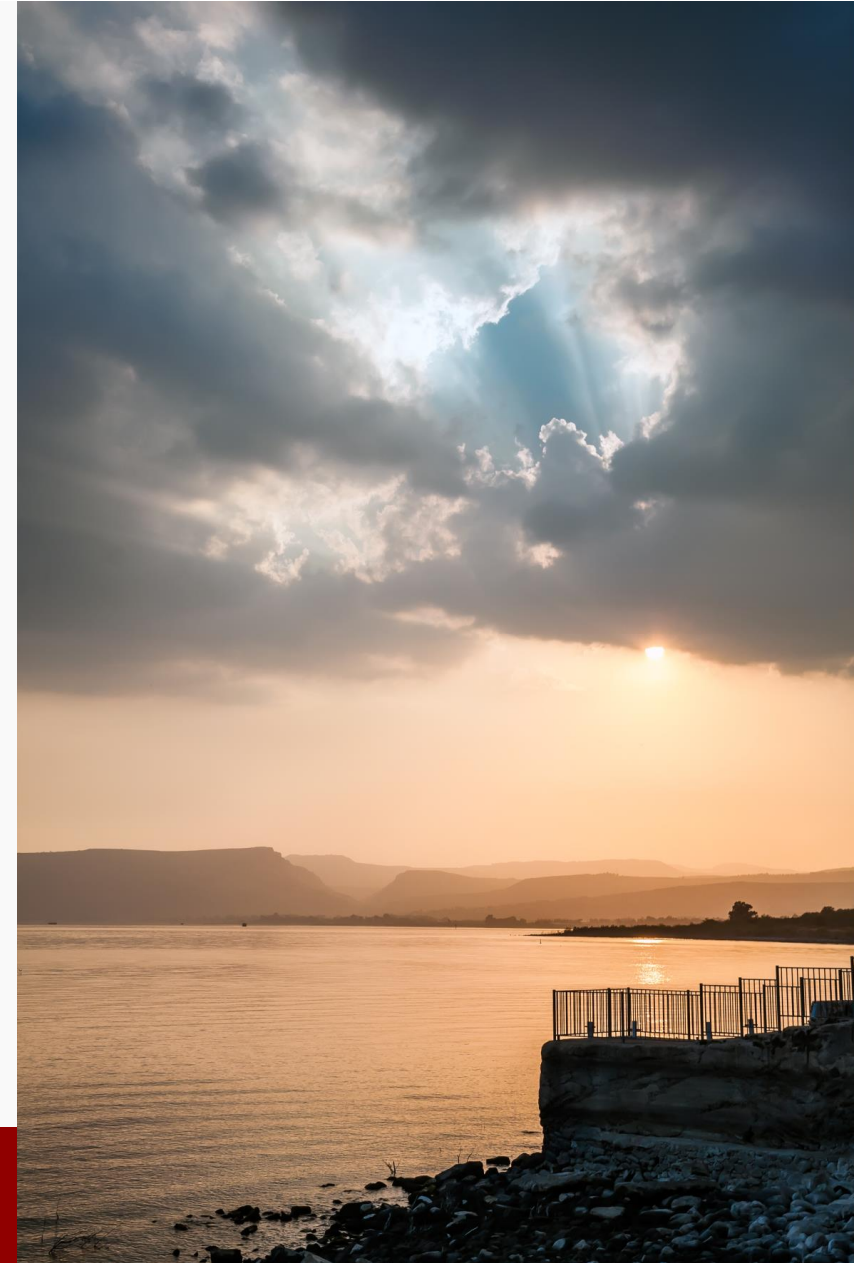
しかし、わたし*はそのとき、彼らにはっきりと言います。『わたしはおまえたちを全く知らない*。不法を行う者たち、わたしから離れて行け。』

*イエスご自身こそ、裁き主だと公言!!

*救われる者は、真実に主を知る者

裁かれる者は、主に知らないと言われる

真実に主を知る者とされていこう!!



結論

岩の上の家 マタイ7:24~25

ですから、わたしのこれらのことばを聞いて、それを行う者はみな、**岩の上に***自分の家を建てた賢い人にたとえることができます。

雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家を襲っても、家は倒れませんでした。**岩の上に***土台が据えられていたからです。

***“岩”はメシアを象徴**

「身を避ける、わが岩なる神よ。わが盾、わが救いの角、わがやぐら、わが逃れ場、わが救い主、あなたは私を暴虐から救われます。

Ⅱサム 22:3」



結論

砂の上の家 マタイ7:26~27

また、わたしのこれらのことばを聞いて、それを行わない者はみな、砂の上*に自分の家を建てた愚かな人にたとえることができます。

雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまいました。しかもその倒れ方はひどいものでした。」

*ワジ(水無川)…一見するとよい宿营地

突然、上流から鉄砲水が流れることが!!

➡家を建てるなんて、あり得ないこと

■御言葉に立たない信仰がいかに脆いか!!



メシアに
信頼しないなど
あり得ない!!

結論

主の教えの衝撃 マタイ7:28~29

イエスがこれらのことばを語り終えられると、
群衆はその教えに驚いた*。

イエスが、彼らの律法学者たちのようではなく、
権威ある者*として教えられたからである。

*すべての権威者である“神ご自身”として

■ 驚いた*、なんてもんじゃない!!

➔ 震天動地の驚愕のメシア宣言!!

■ メシアのガリラヤ湖畔での教えは、
イスラエルを根底から揺り動かす衝撃を!!



メシアによる
史上最大の
爆弾発言



IV. まとめと適用

真偽を見分ける、主の道へ

真実か

■ 狭い門 …メシアの教え
永遠のいのちに至る門

■ メシア・神の預言者
良い木・良い実

■ 主の御心を行う

■ 岩の上の家…堅く立つ

永遠のいのち

偽りか

■ 広い門 …偽りの教え
永遠の滅びに至る門

■ 偽預言者
悪い木・悪い実 →火の中に

■ 「主よ。主よ」と口先だけ
預言、悪霊払い、奇跡の強調

■ 砂の上の家…壊され流される

永遠のほろび

山上の説教の結論

■道は、二つに一つ

①メシアを信じ、永遠のいのち・神の国に至るか

…狭い門から入り、御言葉に従い、御心を行う

②メシアを拒み、永遠の滅び・地獄にいたるか

…広い門から入り、偽の教えゲヘナに従い、偽善に陥る

正しい道を選び続けていけるように!!

人はなぜ、道を誤ってしまうのか？

- ❶ 罪人だから、罪を犯す …主に逆らう道に惹かれてしまう。
- ❷ 罪の性質ゆえに …安きに流れる。信じた後も絶えない誘惑。

■ それは、主の御心か？ それともただの自分のお心か？

例)「平安がないので…」「祈っても示されない…」

➔ 目の前の課題から、逃避しているだけでは？

■ 主からの平安は、試練のただ中で与えられる、しるし。

狭い門から入るように、主は愛する子の成長を願われている。

靈的戦いに勝利するために

■ 偽善者は、羊の皮を被った狼。群れの内部に侵入し、破壊する。

例) アナニアとサツピラ 裏切り者のユダ

➔ 外見では判別不能。むしろ信仰熱心。他者の評価も。

言葉で感動させる。癒やしや奇跡すら伴う者も。

週に一度、数時間、言葉だけの集いは、絶好の生息地。

① 御言葉の学び …正しく理解し、実践しているか。

② 愛に基づく共同体 …問われるのは、群れの内実。

互いの関係性は？ 実を結んでいる？

靈的戦いへの勝利の道

- 使徒の働き・書簡 →初期の教会から、絶えざる靈的戦いが。
- 福音宣教**の使命に進み続けた使徒たち →**最大の対抗策**
- 決して思うようにならない**伝道**は、自ずと信者を謙遜に!!
試練と苦難を乗り越えるには、**兄弟姉妹の愛の関係**が必須!!
- 律法も主イエスの教えも、**弱い人々**に目をとめるよう促す。
口先でない、本当に弱い人々と共に、主の使命に歩もう。
例) こどもたちに教えられてきたこと

★ 人として来られたメシアに続く道 ★

- 主イエスは、徴税人や娼婦、罪人と共に歩まれた。
本当に弱い人々に寄り添い、声にならない声を聞かれた。
遣わされた地に深く根ざそう。主が出会わせられる人がいる。
- 楽に築ける関係性などない。真実の交わりなら、なおさらだ。
メシアが、人として地上に来られた理由をよく考えよう。
- 学びと交わり、どちらが欠けても、良い実を結ぶことはない。
顔と顔をあわせた関係性を、主と兄弟姉妹と築いていこう。

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活されたことを、信じます。

ひと こ あゆ みち わたし つづ
人として来られたキリストの歩まれた道に、私は続きます。

みことば まな みこころ したが みたま わたし み
御言葉に学び、御心に従います。御霊で私を満たしてください。

しゅ ひとびと かお かお まじ ふか
主と人々と、顔と顔をあわせた交わりを深めていけますように。

ふくいん かか しゅ あい あか びと ち わたし つか
福音を掲げ、主の愛の証し人として、この地に私を遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」